

科 目 名
ドイツ語Ⅲ German III

3年 前期 2単位 選択

福 山 洋

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1), 2-(1), 3-(5)

建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準1の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
A	—	建築総合コース	選択	22.5時間
	A 4	建築計画コース		
	f	建築構造コース		

【概 要】

ドイツ語学習の基本事項をおさえながら、テキストレベルでの理解と運用のために応用練習を行う。

【到達度目標】

- (1) ドイツ語の理解と運用のための基礎を拡充し、応用能力を高める。
- (2) 国際理解・異文化理解を進める。

【授業計画】

テ ー マ	内 容
① 導入授業	挨拶（1）、自己紹介
② 第1課	動詞の人称変化（1人称、2人称敬称） ドイツ語は主語によって動詞の形が変わることを確認します。
③	飲み物の注文
④	職業、アルファベット、発音の規則
⑤ 第2課	挨拶（2）、動詞の人称変化（2人称親称） 2人称の使い分けができるようになります。
⑥	数字、家族の紹介、動詞の人称変化（3人称）
⑦	練習を通じて文法事項の確認をし、さらなる応用力と表現力を養成します。
⑧ ①～⑦の総括	①～⑦の総括と中間テスト
⑨ 第3課	部屋の中にあるものの名称、名詞の性 名詞にはそれぞれ男性・女性・中性名詞があります。
⑩	部屋に足りないものを要求する、冠詞（1格、4格）
⑪	手紙の書き方
⑫ 第4課	時刻、街中にあるものの名称 様々な名詞を使いこなせるようになります。
⑬	行き先を述べる、前置詞
⑭	これまで学習したことの練習を通じて、文法事項の確認をし、さらなる応用力と表現力を養成します。
⑮ 総 括	総 括
⑯ 期末テスト	

【授業方法】

講義と演習を行う。

【評価方法】

試験による（100％）。

【教科書・教材】

板山真由美 他著「ベーシック版自己表現のためのドイツ語」三修社

【履修上の注意】

与えられたテキストを理解できるようになることが基本的な目標である。授業には、教科書と共に辞書も持参すること。受講者はドイツ語Ⅰ・Ⅱを一通り勉強した者であることを要す。